

北区

政務調査だより

2022年 新春号

札幌市議会議員

むらまつ やすひろ 叶啓



あなたの声を
つなぐ、叶える。

◆オリンピック招致へ一歩、市が新たな開催概要案
冬季オリンピック招致に関する市議会の調査特別委員会で
昨年11月29日、大会運営費を最大900億円削減する札
幌市の新たな開催概要案について説明を受けました。

◆グリーフケアの勉強会に参加

市議会自民党の勉強会で、家族など大切な人の
死別の悲しみからの立ち直りを支援するグリーフ
ケアについて学びました。

総務委員長(当時)として手腕を発揮

ごあいさつ

新型コロナウイルスがわが国で確認されて以降、政府は最優先でコロナ対策を取り組んでいます。しかし、新たな変異株が拡大するなど、なかなか収束の見通しが立たない状況にあります。札幌市では2月以降、65歳以上の方から3回目のワクチン接種を進めており、私たち札幌市議会自民党議員会でも、自宅療養者へ治療薬を届ける仕組みづくりを整備しました。これまで強化してきた医療提供体制をフル稼働し、必

要な措置を機動的に講じながら、高齢者・弱者への福祉対策、さらには観光産業、飲食店等への経済対策の拡充などに取り組んでいます。

地域に住むあなたの声をしっかり市政に反映させ、そして「住んで良かった北区。」を叶える努力をしてまいりますので、皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

村松 叶啓

より便利に
なります

「篠路出張所機能強化」

増築棟建設及び敷地内の駐車場や進入道路の新設工事が完了し、篠路出張所は増築庁舎に移転しました。現在は、仮営業中ですが業務が拡充されるのは本年(令和4年)夏以降となります。



出張所の主な取り扱い業務

分野	現行	拡充後
戸籍住民	住民票等発行 各種届出	住民票等発行、各種届出
税証明	所得証明等発行	所得証明等発行
保健福祉	児童手当申請	児童手当申請 子ども医療費助成申請
介護障がい	介護認定申請	介護認定申請 敬老バスの交付申請・返還申請 障がい者交通費助成申請
健康・子ども	母子手帳交付 難病患者医療費助成申請	母子手帳交付 難病患者医療費助成申請
保険年金	資格異動届	資格異動届 高額療養費等給付申請 限度額認定証交付申請
相談・情報提供	母子相談	母子相談 高齢者、障がい者、乳幼児、認可保育園に関する相談(情報提供、専門窓口へのつなぎが中心)

お問い合わせ

〒002-8024 札幌市北区篠路4条7丁目2-40
電話:011-771-2231 Fax:011-773-6986

令和4年度予算編成に向けた 札幌市議会自民党議員会の重点政策要望

各種友好団体や市民の皆さまからのご意見・ご要望を市政に反映するため、全力で取り組みます。



- ① 新型コロナウイルス感染症対策の推進と、経済再生への支援強化
- ② 冬季観光の新たな魅力創出と、観光産業への営業支援強化
- ③ 冬季オリンピック・パラリンピック(2030)の札幌招致
- ④ 新幹線開業を見据えた創成東地区の新交通システムと、札幌広域圏の総合交通体系の確立
- ⑤ 都心アクセス道路の早期実現
- ⑥ 丘珠空港の滑走路延長と路線拡充の推進及び防災拠点化の早期実現
- ⑦ 丘珠空港の潜在力を活かした、空港を中心とした都市計画の策定
- ⑧ 洪水災害・土砂災害に対する指定緊急避難所の拡充と浸水対策
- ⑨ パートナーシップ排雪制度の抜本的見直し
- ⑩ 児童虐待撲滅への、人員体制強化と地域・関係機関との連携強化
- ⑪ 保育人材確保と就労継続のための支援強化
- ⑫ ひとり親世帯への支援・子どもの貧困対策の促進
- ⑬ 敬老優待乗車証(敬老バス)のJR利用の実現
- ⑭ 安定した公共事業の確保と入札制度の改善
- ⑮ 北区役所庁舎建替えに向けた総合的な議論と検討
- ⑯ 拓北～あいの里アンダーパスの早期実現
- ⑰ 新琴似769番地土地「市民運動広場」の早期完成
- ⑱ 百合が原烈々布幹線の整備

むらまつやすひろのプロフィール ●昭和50年、札幌市北区生まれ ●篠路小学校、上篠路中学校、北海高校卒業 ●東京工科専門学校建築工学科卒業後、民間企業で15年にわたり建築業に従事 ●平成27年、札幌市議会議員に初当選(現在2期目)、札幌市議会総務委員長、札幌市議会自民党議員会副幹事長など歴任。現在、札幌市議会建設常任委員 ●主な資格:一級建築施工管理技士、二級建築士

やすひろ
むらまつ叶啓
政務調査室

〒002-8022 札幌市北区篠路2条7丁目5-22
TEL: (011)774-6913 FAX: (011)788-3920
E-mail:info@m-muramatsu.com



ホームページ Facebook Instagram

コロナ後の社会づくりに向かって 札幌市議会自民党の総力を結集!

令和4年、札幌は市制施行100周年、政令指定都市移行50周年の大きな節目を迎えます。市制施行当時12万人余だった札幌は、アジアで初の冬季オリンピック札幌大会の開催(昭和47年)を経て、わが国屈指の大都市に発展しました。

そして今、人口減少や少子高齢化、老朽化した都市基盤の更新、アフターコロナを見据えた経済社会の構築など、新時代を見据えた重要課題に直面しています。これらの課題を未来への発展のきっかけにするべく、札幌市議会自由民主党議員会は12月10日、国の来年度予算編成に対し、以下6項目からなる重点要望を申し入れました。

予算編成に向けた重点要望



東京・自民党本部で各省庁や北海道代議士会に要望活動を実施(令和3年12月10日)

1. 新型コロナウイルス感染症対策

- より効果的な対策の再構築等
- 医療・福祉提供体制の整備と感染予防対策に係る支援
- 市民生活・事業の継続等に関する支援
- 経済活性化に関する支援
- 財政支援の充実と事務権限の在り方

2. 北海道新幹線の早期完成

- 新函館北斗・札幌間の早期完成
- 建設財源の確保及び地方負担に対する財源措置の拡充

3. 札幌都心部における交通結節機能の強化と骨格道路網の改善

- 「国道5号 創成川通」の整備促進
- 札幌駅の交通ターミナルの事業計画策定に向けた調査の促進

4. 冬季オリンピック・パラリンピックの招致

- 冬季オリンピック・パラリンピック招致に係る支援
- 総合型ハイパフォーマンススポーツセンターの建設

5. 国土強靭化と丘珠空港機能強化への支援拡充

- 国土強靭化へ向けた着実な施策の実施と財政支援
- 非常用電源確保のための支援の拡充
- 除排雪経費に係る地方交付税措置の拡充
- 丘珠空港の機能強化

6. 多様な教育環境の整備

- 少人数学級の推進に向けた教職員定数の拡充
- 高等学校におけるICT環境整備の推進

新型コロナウイルス対策にも全力

自民党議員会では、新型コロナウイルスのまん延を予防するためには、円滑なワクチン接種の実施が不可欠だと考えています。市内における2回目の接種を終えた人の割合は、1月24日現在で77.4%となりました。今後の追加接種(3回目)をスムーズに進める体制整備はもとより、接種率が低い若い世代の方々に接種を受けてもらうための正しい情報の発信、再び感染拡大が起こったとしても対応可能な医療体制の構築など、万全な対策を進めています。



札幌市のコロナ関連データ

●ワクチン2回接種率(1月24日現在)

77.4% 高齢者
93.5%

●ワクチン接種実績(1月24日現在)

304万7,223回

●飲食店の第三者認証件数
(12月27日現在)

6,570件 (対象店の約6割)

主な支援制度(全国共通)

●雇用調整助成金

1日最大1万5,000円

●小学校休業等対応助成金

1日最大1万5,000円

●事業復活支援金(新規)

中小企業 最大250万円
個人 最大 50万円

※売上減少率による

2030年冬季オリ・パラ札幌招致の実現へ

札幌市は2030年の冬季オリンピック・パラリンピックの招致を目指しており、

TOKYO 2020 OLYMPIC TORCH



本年度中に実施する全道規模の市民意向調査の結果や、議会での議論を踏まえ、招致の是非を総合的に判断するとしています。自民党議員会は、私たちに大きな感動を与えてくれた2020東京大会の成果を札幌招致の実現につなげるとともに、誰もがウインタースポーツに参加できる国際スポーツ都市の創造を目指し、全力で取り組んでまいります。